



光明山観音寺北釜地藏堂 扁額当山貫主筆



東日本大震災犠牲者慰霊式万体地藏尊奉安

光明山観音寺北釜地藏堂再建事業完成

注 来る三月十一日の大震災五周年の当日、当山貫主大導師のもと、記念の大法要がとり行われますが、今号ではとり敢えず北釜地藏堂の完成写真及び再建記念碑の銘文を掲載させていただきます。 高幡山事務局（野村記）

北釜地藏堂再建記念碑（銘文）

北釜地藏堂本尊地藏菩薩立像並びに
大震災犠牲者慰霊式万体地藏尊像奉安

東京都昭島市在住の陶芸家渋谷太郎氏 東日本大震災犠牲者慰霊地藏尊像式万体造立を発願 七千体の尊像完成後 高幡山に奉安先選定を委嘱す されば高幡山貫主 宗派寺院・法類・知己を挙げて奉安寺院を検討するも 具体化には至らず 漸く平成二十六年十一月に至り宮城教区長杉田広仁師 及び教区寺院各位の推薦と観音寺兼務住職惠美周典師の承諾を得て 由緒ある本堂・千体地藏堂等流出の大被害を受けし光明山観音寺への奉安が決定す

爾来 高幡不動尊檀信徒並びに真言宗智山派多摩教区・宮城教区・宗内有志各位に北釜地藏堂再建並びに尊像奉安事業への協力を懇請し 無魔式万体尊像奉安及び北釜地藏堂再建事業を成満 加えて再建地藏堂本尊に国立市佐藤収一氏・高幡山金剛寺寄進の今城國忠氏作ブロンズ製地藏菩薩立像をご安置し 大震災発生五周年の本日地藏堂の本尊並びに式万体地藏尊の入佛開眼・大震災犠牲者慰霊の大法要を勤修し 併せて東日本大震災の被害を末長く後世に伝えんとするものなり

平成二十八年三月十一日

光明山観音寺北釜地藏堂再建委員会建立

お不動さまの心——(九二)——

現代の世相から(52) 廣澤隆之

最近では政治や経済の分野でさまざまな格差ということが議論されています。特に個人の所得に差がある経済格差が日本社会で進行中であり、深刻な問題になっていると多くの人が指摘しています。経済だけでなく、さまざまな分野で格差があるのは好ましいことではありません。社会の中に不平等感が広まるのは健全とは思えません。しかも厳しい生活を強いられているお年寄りや若者が目につきます。年金生活者の貧困問題、そして非正規雇用労働者の貧困化など日本を覆う深刻な社会問題といえるでしょう。この問題を解決するために、政治家のみならず、私たちも知恵を出し合い、協力できることをしてゆかねばならないでしょう。

ある階級を置いていました。江戸時代には武士の政治支配が完成し、確固とした階級社会が形成されました(ただし、士農工商は職業区分であり、身分差別を示しません)。明治になっても四民平等の政治が建前ではありましたが、華族、士族、平民という階級は戸籍に記され、歴然とした階級社会になっていました。しかも江戸時代の被差別民には新平民という蔑称まで付される差別が温存されました。階級格差を明確に示す一例は選挙権です。日本では明治になって議会がつくられました。議員を選ぶ権利は一定程度の納税をしている男子に限られました。納税額に関係なく、すべての男子が選挙権を得たのは昭和になってからです。ましてや女性が発議権をもつようになったのは第二次大戦後です。選挙権のみならず、戦後には完全な平等社会が憲法で保障されるようになりまし。しかし経済格差は歴然としてあり、戦後の貧しい時代のなかで貧困家庭も多くとりわけ貧困児童の栄養補給は深刻な問題でした。

このように歴然として社会的格差があり、貧困問題がつねにある日本社会で、人々が格差を意識しなくなったのは高度経済成長期のことです。この時代は日本社会では例外的に格差が露骨に社会問題化しなかったといえます。そのころの多くの日本人は電化製品や自動車などアメリカの豊かさを象徴すると思われていたものを自分たちが購入できるようになったことに満足できました。そしてかつては想像することもできなかった海外旅行が当たり前になりました。「もはや戦後ではない」といわれ、「一億総中流」ともいわれ、多くの人々が中流意識をもち、歴史上まれな平等社会が成立しました。もちろん、そのような「中流」から落ちこぼれた多くの人もいました。そのことは見えないようにして社会生活は成り立っていました。

この高度経済成長は国民に豊かさをもたらしたのは確実です。しかしその豊かさは金銭に換算できるものすぎません。本当の豊かさとは一体何なのか、高度経済成長が終わってから人々は反省し始めました。まるで宴の喧噪のあとのむなしさのようです。あくまでも私の個人的な感想ですが、あの高度経済成長やバブル経済を身を以て味わった人々が高齢化してきました。私もその一員です。この贅沢を知ってしまった年寄りたちが今までの生活を維持しようとしたら、



毘沙門天像(江戸時代)

子育て最中の若者は保育園を探すことにさえ大変なエネルギーを使っています。また子供の教育費を稼ぐことは大変です。若い世代の経済格差は教育の機会均等をなくし、経済格差が教育格差に直結します。教育の格差はけつしてあつてはならないことです。お金持ちの家に生まれた者が高度な教育を受け、貧しい家庭に生まれた子供には最低限の教育機会しか与えられないような社会はきわめて不健全です。社会にさまざまな心の病を生み出す原因となります。年寄りの仲間入りをした今、次の世代のために自分ができていることを見つめることが大事だと私自身は思うようになりました。多くを望まず、与えられたものをできるだけ若い世代に譲ることで満ち足りた思いになれたら、それが格差社会で老人が味わえる豊かさかなと思ったりします。自分の利益を忘れて若い世代にという思いを懐いて仏さまに見守られることが最高の贅沢のような気がします。格差社会で厳しく自分を見つめ、やさしく生きることができたらと思います。

廣澤隆之先生のプロフィール

●大正大学教授

●浄福寺住職

当山の記念碑・文学碑(5) 土方歳三銅像

東京日野ロータリークラブ建立



銅像建立余話

明治以来百余年に亘って逆賊
扱いされておりました、新選組
は戦後十数年を経て、その勤
皇・佐幕の旗印のもと義に生き
節に殉じた活動が見直されるよ
うになりましたが、特に司馬遼
太郎先生の「燃えよ剣」が発刊
された昭和三十年後半からは新
選組ブームが全国的なひろがり
を見せるようになりました。

そんな折新選組の関係者の多

い日野市内の有志から、当山境

内に組長の近藤勇、副長の土方

歳三、六番隊長の井上源三郎の

銅像建立の話が持ち上りました

が、時の日野市長さんから「暴

力団の親玉のような新選組の銅

像を建てるのは文化都市日野の

恥だから建立を取り止めにして

貰いたい」との要請があり、一

旦中止の形になりました。

その後も関係者の間で何とか

歳三像 銘文

幕末新選組副長 土方歳三義置は土方義淳の第四子とし
て日野市石田に生る。生来、聡明・多感にして剣の道を天
然理心流近藤邦武先生に学ぶ。

文久三年幕府の求めに応じて浪士組に参加、將軍家茂公
警護の為上洛す。京都守護職松平容保公の預りとなり、更
めて近藤勇を頭に新選組を結成し自らは副長として市中見
廻り・警護につとめ池田家事件・禁門の変等に勇名を轟ろ
かす。

然し激動の時代、こと志と違つて賊軍の汚名を被せられ
鳥羽・伏見の戦いのち、慶喜公に従つて海路江戸に戻り、
以後勝沼・宇都宮・会津を転戦し、明治二年五月十一日、
函館戦争のさ中に戦死す。

多摩の風土に育ち、義に生き・節に殉じた歳三の三十五
年の生涯は没後百数十年を経た今も、男の美学として広く
語り継がれている。

先に明治九年、高幡山第二十九世賢雅和上は境内に近
藤・土方両雄の碑を建ててその殉節を顕彰するも、更に此
の度、東京日野ロータリークラブ会員一同、クラブ創立三
十周年記念事業として弁天池畔に出陣姿の歳三像を建立し、
その業績を永く後世に伝えんとするものである。

維時平成七年十一月三日

高幡山金剛寺中興第三十三世祐勝撰并書

建てたいものだとの意見があり
ましたが、その意向もくんで東
京日野ロータリークラブが創立
三十周年記念事業として建立し
て下さったのが前記の土方歳三
像なのです。
(関連記事一〇頁参照)

仮設物撤去作業完了

警察・消防・警備会社の詰
所、山内臨時札所二棟ほか、
正月用の仮設物は二月十五日
までにすべて撤去され境内は
平常に戻りました。



年男芳名揭示板 (2月15日撤去)



節分会 ゲストの皆さん 2/3

高幡不動尊 フォトニュース



除夜の鐘の第一打 1/1



初詣の賑わい 1/1



大雪で倒れた桜の古木 1/18



元朝一番護摩 1/1



江戸消防記念会の皆様の初詣 1/10



「文化財を火災から守ろう」防火演習 1/26



おみがき 12/16



お焚きあげ 12/28



歳三像のお身拭い 12/31



だるま市 1/28 2/3



光合成中の彼岸花 1/13



福豆作り 遍照講の皆さん 1/25



大活躍の学生アルバイト 1/2

ご奉納御礼

左記ご奉納頂き大変有難く厚く御礼申しあげます。

平成二十八年二月七日まで
(敬称をすべて省略させていただきます)

境内整備緑化資金 寄進者芳名

- 日野市 遠藤 和子
- 三鷹市 (有原田工務店代表取締役) 原田 繁人
- 八王子市 網代 政子
- 彦根市 西澤 政男
- 多摩市 寺尾 公平
- 1000個 府中市 持田 文眞
- 1000個 国立市 栗林 恒子
- 1000個 日野市 田倉美枝子
- 1000個 日野市 田倉 康子
- 1000個 日野市 須崎 巖
- 500個 日野市 須崎 芳江

千体地藏尊 奉安者芳名

- 50個 日野市 三宅 基治
- 30個 日野市 宇津木 純
- 20個 相模原市 馬場 美幸
- 高津 章彦

- 那須塩原市 廣瀬 督
- 杉並区 山崎 淑子

- 2体 府中市 萩原 あさ
- 日野市 山下 和美

- 相模原市 磯部 まさこ

幟旗奉納者芳名

- 2本 荒川区 ヴイトロー・ミニオン
- 2本 世田谷区 箭内 節子
- 小平市 一條 頼子
- 清瀬市 沖山 順子
- 2本 西東京市 秋本 キヨ子
- 多摩市 坂口 恵子
- 日野市 加藤 栄子
- 日野市 平野 英夫
- 日野市 平野 富子
- 日野市 平野 みつる
- 八王子市 小林 千恵

大提灯奉納者芳名

- 2本 八王子市 アイランド建設代表最親 藤堂 清司
- 八王子市 大熊 健一
- 八王子市 大熊 彰子
- 2本 町田市 林 實
- 町田市 山本 芳男
- 町田市 遊佐 ムメ子
- 相模原市 石川 静枝
- 相模原市 倉田 光次
- 厚木市 久光 守

諸品奉納

- 世田谷区 高橋 典子
- 世田谷区 渡会 美枝子
- 小金井市 株式会社エコセフ

錦鯉 十五尾

- 川崎市 板橋 伯昌
(当山檀家高橋厚子知人)

賽銭箱

- 八王子市 梅原 清次

稲荷社の鈴とひも

- 伊東市 山田 節子

ベンチ 一脚

- 日野市 小澤 義文

保育園跡の駐車場整備について

平成二十六年六月一日発行の山報八七号でお知らせ致しました境内整備工事中、高幡保育園跡地の整備が大変遅れておりますのは、工事計画を東京都に申請しましたところ、川崎街道沿いに強固な防護壁を設けるなど幾つもの指導があり、以後幾度も協議を重ねやっと昨年十二月に施行許可が下りました。

すぐ着工するようにとの事でしたが、初詣・初不動・節分の参詣者の迷惑にならないように三月から工事にかかり、六月末までに工事を完了する予定でございますので、ご理解の程御願ひ申しあげます。

尚工事後はコインパーキングとして皆さまに利用していただくこととなります。第一第二駐車場満杯の折などにご利用下さいますようお願い申し上げます。



保育園跡の現状

各種募金総計表

(平成28年2月20日現在)

インドハンセン病救援金	(19回)	15,300,000円也
阪神大震災救援金	(4回)	4,104,039円也
トルコ大地震救援金	(1回)	1,000,000円也
台湾大地震救援金	(1回)	1,000,000円也
三宅島災害救援金	(2回)	2,000,671円也
インド大地震救援金	(1回)	512,609円也
○イラン大地震救援金	(1回)	1,000,000円也
カンボジア小学校建設資金	(1回)	100,000円也
ラオス教育振興資金・井戸掘削援助資金	(1回)	800,000円也
新潟中越地震・中越沖地震救援金	(3回)	3,100,000円也
○スマトラ沖地震大津波災害救援金	(1回)	200,000円也
スリランカ・スリジナラタナ社会福祉協会	(1回)	1,030,000円也
○アフガニスタン児童教育援助金	(7回)	5,500,000円也
○アフリカ緊急募金	(9回)	4,700,000円也
パキスタン北部大地震救援金	(1回)	1,000,000円也
ジャワ島地震救援金	(1回)	1,000,000円也
能登半島沖地震救援金	(1回)	250,000円也
○ソロモン諸島沖地震救援金	(1回)	250,000円也
○ミャンマー大洪水救援金	(1回)	500,000円也
四川省大地震救援金	(1回)	1,000,000円也
読売愛と光の事業団社会福祉事業基金	(1回)	300,000円也
スマトラ・サモア地震救援金	(1回)	200,000円也
中米ハイチ大地震救援金・チリ大地震救援金	(3回)	1,300,000円也
宮崎県口蹄疫被害畜産農家救援金	(1回)	1,000,000円也
日野市社会福祉協議会への寄附	(19回)	5,700,000円也
東日本大震災救援金	(18回)	32,000,000円也
ネパール大地震救援金	(1回)	1,000,000円也
総計	(102回)	85,847,319円也

募金の御礼とご報告

高幡不動尊金剛寺執事

平成九年以降皆さまから寄せられました各種募金の合計は左記の通りでございますので御礼旁々ご報告申し上げます。

尚 ユニセフ関係募金(○印)は合計一、二二五万円に
東日本大震災救援金は合計三、二〇〇万円になっております。

六大新報 2月15日号より



東京都日野市の高幡不動尊金剛寺(川澄祐勝(主筆))では2月3日節分豆撒き式を盛大に執行し、祇園舞妓や年男女、和泉雅子らタレント等賑やかに豆をまき、福を求める4万余の参拝者で賑わった。



あじさいの部 銀賞「優雅に」
八王子市 新井 久枝

春の行事案内

(毎月十五日にはお焚き上げが行われます)

◇三月

○13日(日) フリーマーケット

○20日(祝) 春分の日 彼岸会法要(午前七時) 大日堂
ござれ市(がらくた市)〈雨天決行〉

○21日(月) 弘法大師正御影供 (午前七時) 大日堂
月例写経会(午後一時三十分) 貫主法話

○24日(木) 千体地藏尊月例法要(午後二時) 法話 山内僧侶
○28日(月) 月例祭(ご縁日)

◇四月

○8日(金) 花まつり(灌仏会) (午前十一時)
尚、甘茶接待は四月六日(水)〜十日(日)まで行います。

○10日(日) フリーマーケット

○17日(日) ござれ市(がらくた市)〈雨天決行〉
月例写経会(午後一時三十分) 貫主法話

○21日(木) 月例写経会(午後一時三十分) 貫主法話
○27日(水) 春季大祭国宝まつり (詳細は左頁参照)

◇五月

○7日(土) 第十九回ひの新選組まつり

○7日(土) 新選組友の会・歳三忌

○8日(日) フリーマーケット

○15日(日) ござれ市(がらくた市)〈雨天決行〉
月例写経会(午後一時三十分) 貫主法話

○21日(土) 月例写経会(午後一時三十分) 貫主法話

○24日(火) 千体地藏尊月例法要(午後二時) 法話 山内僧侶

○28日(土) 五月大祭

記念講演 午後二時―聴講無料―

※講師の先生と演題が未定ですので決まり次第境内に掲出しますのでご了承下さい。

多摩八十八ヶ所巡拝のご案内

当山では昭和四十八年より毎年、四月から十月にかけて多摩八十八ヶ所巡拝を実施致しております。巡拝は初めての方でも先達のお坊さんの案内をいただき乍ら月一回の楽しい巡拝が出来ます。ご知友誘い合せてご参加下さいませようご案内申し上げます。

記

一、巡 拝 毎月第一週の火・木・日曜日(五月は第二週)

一、会 費 四九、六〇〇円(七回分) 分割納入も可
(納経料・バス代・保険料等を含む)

一、昼 食 各自持参

※詳しくは高幡山事務局内龍華会まで

電話 〇四二―五九一―〇〇三二番

花まつり法要と甘茶接待

四月八日にお釈迦様のお誕生をお祝いする花まつり法要が執り行われます。灌仏会とも呼ばれるこの法要は、お釈迦様がルンビニーでお生まれになったとき龍王が甘露の雨を降らせて祝福した故事にならない誕生仏に甘茶をそそぎます。

当山でも花御堂を飾り、誕生仏に甘茶をそそぎ、お祝いの花まつり法要(灌仏会)が行われます。

甘茶接待 四月六日(水)

四月十日(日)

花まつり法要 四月八日(金)



春季大祭国宝まつりのご案内

○四月二十七日(水)

大 写 経 会 …………… 午前九時三十分(客殿三階)

写 経 奉 納 大 護 摩 修 行 …………… 午前十一時三十分(不動堂)

※記念講演【聴講無料】…………… 午後一時(塔院大ホール)

講 師 延 壽 院 御 住 職 伊 佐 栄 豊 先 生

演 題 「お不動さまに救われた時」

○四月二十八日(木)

春 季 大 祭 国 宝 ま つ り 世 界 平 和 祈 願

稚 児 練 供 養 大 護 摩 修 行 …… 午後一時(不動堂)

※奉納演芸【入場無料】…………… 午後三時(塔院大ホール)

柳 家 花 緑 師 匠 落 語 会

◇賑わいますのでお早めにお出かけ下さい。

五 重 塔 仏 伝 彫 刻 拜 観 日 【 拜 観 無 料 】 …… 午前十時～午後四時

○四月二十九日(金) 昭和の日

千 体 地 蔵 尊 総 回 向 法 要

午 前 の 部 …………… 午前十時(千体地藏堂)

午 後 の 部 …………… 午後一時(千体地藏堂)

※記念講演【聴講無料】…………… 午後二時(客殿二階洋間)

講 師 東 京 都 立 大 学 名 誉 教 授 峰 岸 純 夫 先 生

演 題 「三つの平山氏―横山系・日奉系・高麗系―」

※奉納神輿練り(地元愛好会奉仕)：午後〇時三十分

出 店 が ら く た 市 (骨 董 市) ほ か 五 〇 店

◇四月二十八日は五重塔最上階まで上がれます

…………… 午前十時～午後四時

千体地藏尊総回向法要

左記によって千体地藏尊総回向法要を勤修し、皆様方の諸願成就・万霊供養をご祈念申しあげます。ご知友お誘い合わせてご参拝下さい。

記

一、日 時 四月二十九日(昭和の日)

午 前 の 部 十 時 从 前

午 後 の 部 一 時 从 前

一、会 場 塔院千体地藏堂

一、冥 加 料 金 貳 千 円 也 (但、お札料)

◎ご回向の塔婆をご希望の方は別に参千円(二体)を添えてお申し込み下さい。

大 写 経 会 の お 知 ら せ

当山では、春季大祭国宝まつり中左記の通り大写経会を奉修致しますので、ご知友お誘い合せてご参加下さい。

記

一、日 時 四月二十七日(水) 九時三十分

一、会 場 高幡不動尊客殿

一、会 費 金 五 千 円 也 (尚、当山招待者は三千円)

(含写経奉納金、昼食代「精進料理」、記念品)

一、募 集 人 数 先 着 一 五 〇 名

一、日 程

付	9:00分	分り
合	9:20分	よ
集	9:30分	分
修	11:30分	行
納	12:15分	式
摺	13:00分	食
食		話
法		話
念		法
記		念
貴		主
大		護
写		摩
経		修
受		納
客		摺
殿		食
寫		話
真		法
昼		念
記		主

○お申込・お問合せは高幡不動尊写経係まで
TEL 〇四二―五九一―〇〇三二番(代)

稚 児 募 集 要 項

来る四月二十八日(木)の春季大祭国宝まつりのお稚児を左記の通り募集致します。奮ってご参加下さい。

記

一、日 時 四月二十八日(木)

午 後 一 時

一、集 合 午前十一時三十分

(本坊)

一、申 込 四月二十五日まで

一、冥 加 料 金 七 千 円 也 (お護摩料

お守り札、稚児袋、お

供物、衣裳料、化粧

料、弁当(二人前)

一、年 齢 三歳～七歳位まで

一、ご 準 備 服装自由(しごき紐・

細紐を各一本ご持参

下さい) 履物はなる

べく草履・足袋をご

持参下さい。



第十九回 ひの新選組まつりの概要

ことしのひの新選組まつりが来る五月七日(土)・八日(日)の両日左記の通り盛大にとり行われます。

記

五月七日(土) 新選組隊士総慰霊法要 正 午 五重塔々院大ホール

参加料等はありませんので奮ってご参列ご焼香下さい

新選組隊士コンテスト 午後二時 五重塔々院大ホール

五月八日(日) 新選組隊士全員集合 午前九時 大日堂前

新選組隊士出発式 午前十時 土方歳三像前

このあと午前中は高幡山境内及び門前町で隊士の皆さんのパフォーマンス等

昼食後日野第一小学校へ移動

新選組パレード(甲州街道交通規制 午前十時〜午後三時)

会場 甲州街道川崎街道入口より日野駅まで約五〇〇米

パレード 三〇団体余り・約一〇〇〇名

隊士パレード 午後一時〜二時三十分

催し物と 日野宿 会場内各所でさまざまな催しもの及び出店があります。(八日)

高 幡 高幡不動尊境内では七日・八日の両日新選組関係市町村や大震災被災地の物産展等が予定されています。

尚八日は月例のリサイクル市が開催されます。

※都合により開催内容が変更される場合があります。詳しくは日野市観光協会ホームページ等でお確かめ下さい。

新選組を語る会・歳三忌のお知らせ

第四十一回歳三忌 平成二十八年五月七日(土) 午前十一時から石田寺墓にて読経。午後二時から高幡不動尊で記念講演

講師 相川 相川 司氏 演題『土方歳三の生涯』

参加ご希望の方は「大出俊幸氏」にお問い合わせ下さい。TEL:0177-331-9073 会費 二、〇〇〇円(含記念品)当日会場支払 ※墓参のみは無料です。



隊士コンテスト風景



新選組隊士全員集合

山主の主な動静

- 12/2 京王本社年末挨拶・12/8 ジュイコム取材・12/10 新選組まつり実行委・12/11 煤払い・中大スポーツ取材・12/13 総代世話人会・12/14 もみじ灯路実行委・吉川市仏教会参拝・12/22 星まつり法要・1/1〜1/3 新年大護摩供・1/10 裏千家互礼会(ニューオータニ)・1/18 江戸消防第九区新年会(新宿)・1/19 内局年賀・1/25 別格本山会議(別院)・1/26 文化財防火演習・1/28 初不動大祭・1/31 豆煎式・2/3 節分会・2/6 淡交会第八西支部新年会(八王子)・2/8 教区総会(八王子)・仁和会七十周年祝賀会(八王子)・2/13 日野俳連新春句会・2/14 春耕新年句会・2/15 常楽会・2/16 幡山会新年会(立川)・2/23 警備反省検討会・2/25 まちおこし協議会・京王自動車事業部研修会講師(計六回)
- 2/8 2/9 2/10 2/16 2/19 2/22

山内消息

煤払い (12/11)

十二月十一日、当山職員総出で毎年恒例の煤払いが行われました。煤払いは本来十三日ですが、本年は日曜と重なった為十一日の実施となりました。

激しい雨の降る中、先ず不動堂で法楽をあげ、お不動様の煤を払い、その後各御堂にわかれて一年の煤を払いました。

本年の煤払いは、めずらしく雨天の実施となりましたがこれを境に本格的な正月準備がはじまりました。

(佐瀬記)



一年の感謝をこめて



冬至うどんでおもてなし

星まつり (12/22)

冬至にあたる十二月二十二日の午後五時より、当山恒例の星まつり法要が不動堂にて厳修されました。冬至の晩に来年の当り星を供養して、皆様の開運・厄除・無病息災をご祈念するこの法要には毎年全国各地よりお申し込みがあり、本年も厳しい寒さの中、大勢の方々が参加されました。法要後は温かい冬至うどんのご接待で暖まっていたいただきました。

(百戸記)

福銭作り

一月中旬、遍照講高幡山支部の皆様にお手伝いをいただき毎年恒例の福銭作りが行われました。

大東京信用組合様にご奉納



節分準備の福銭作り

いただいた二万枚の五円玉に一枚ずつカラフルなりボンを通し、丁寧にタトウ紙に包む作業で、福銭作りと並ぶ節分会の大事な準備の一つです。因に今年使われたりボンの全長は二・五kmで、多摩モノレール高幡不動駅から二駅先の甲州街道駅に届く長さとなりました。

内周年賀 (1/19)

一月十九日、総本山智積院より小宮一雄宗務総長をはじめ内局の皆様総勢八名が年頭の挨拶の為来山されました。当山貫主導師の大護摩修行に参列後、前日の雪のまだ残る参道を抜け客殿へと席を移しました。懇談中、貫主の句集や彼岸花植栽事業の話題に



総本山 小宮内局ご一同様

花が咲き、終始和やかなムードのなか進みました。

ご一行はこの後、大本山高尾山薬王院へと向われました。

(直井記)

文化財防火演習 (1/26)

午前九時より日野消防署、日野市教育委員会、日野市消防団第七・八分団、地元三商店会、境内出店業者、災害時支援ボランティア、当山職員による大規模な文化財防火演習が行われました。

出火元を五重塔と想定し、火災発生から初期消火・屋内消火栓からの放水・負傷者の救護・文化財の搬送・全体での一斉放水と各所の連携を確認することができました。今

回の演習を活かして、更に防災意識を高め、大切な文化財を火災から守っていきたくと思います。(清水順記)

ねはん会の集いに参加 (2/9)

二月九日、八王子市仏教会主催の「ねはん会の集い」が八王子いちようホールにて開催されました。

涅槃会法要に始まり、「仏教から見た現代社会」と題した相愛大学人文学部教授の釈徹宗先生によるご法話をいただき、続いて各宗御詠歌、讃仏歌が奉詠され、遍照講高幡山支部の皆様も「般若心経和讃」を奉詠し、お釈迦様に仏恩の詠歌が捧げられました。

(手塚記)



まずは初期消火

年末・年始の行事に参加して

ご参加された方々のお声を
紹介いたします。

星まつり (12/22)

横浜市 山内 陽子
毎年、星まつりに参加させて
いただいています。この日を
迎えると一年無事に過せたと
いう思いで感謝しております。
今年もここでおうどんをいた
だきました。ありがとうございます
でした。



星曼茶羅に願いを込めて 12/22

八王子市 高梨きよえ
星まつりのお礼をと思い、
高幡不動尊では初めてお願い

致しました。

すばらしい法要に参加させ
て頂き、その上冷えた体にお
うどんまでいただいで大変う
れしかったです。(香川県出
身なのでなおさらうれい感
じです) 大変丁寧にご接待い
ただいたこと本当に感謝申し
上げます。(こんなに温かな
気持ちになれる星まつりは初
めてです!!)

日野市 土方 光代

我家も本年の無事に感謝し
上は八十八才のおばあちゃん
から二才の曾孫まで四世代で
来年の幸せを願い参加させて
いただいております。

とても寒い時に温かいおう
どんは本当に感謝です。あり
がとうございました。

成人式 (1/11)

日野市 桜井 紀乃

小さい頃から憧れていた振
袖姿のお姉さんたちに気付い
けは私も同じ年になっていまし
た。先月二十歳の誕生日をむ

かえ、今日
成人式を終
えたけれど
未だに大人
の自覚があ
りません。
これから十
年二十年後
の自分のた
めに自身の
ともなった大人になることが
私の目標です。

今日は、いつもお世話にな
っている方々や久しぶりに会
った同級生とたくさんお話し
することができた素敵な一日
でした。そして、ここまで育
てくれた母には感謝しきれ
ません。ありがとうございます
でいっぱいです。

牛王宝印印可 (1/15)

世田谷区 浅野 義行

一年に一回の行事に出会え
ることが出来て良かったです。

八王子市 金子 正利
身心共にすっきりしました。
ありがとうございます。

八王子市 齊藤 昌也
気持ちが落ちついたように



あこがれの晴れ着姿 (成人式) 1/11

感じます。ありがとうございます
ました。

初不動稚児行列 (1/28)

府中市 阿部 華純

今回で三度目の稚児行列参
加でした。姉二人のアドバイ
スを聞きながら少し緊張しま
したが、楽しく貴重な体験を
させて頂きありがとうございます
ました。

引率して下さいましたお坊
さんのやさしい笑顔に緊張も
ほぐれた娘でした。ありがと
うございました。

多摩市 たなかさらら
おけしようしてもらってう
れしかった！おきものすてき
でかわいい♡
たのしいです。あと、かぶ

るのかわいい。おべんとうお
いしかったです。

横浜市 石附 弘子

孫娘三人共お稚児に参加さ
せて頂き、今回は三人目の末
孫の番になりました。それぞ
れに良い思い出として長く残
ることと思います。

本日は天候にも恵まれ、子
供達のたくさんの笑顔があふ
れています。平和な日々に感
謝、ありがとうございます。

立川市 岡室 恵果

(父、博之)

私も五十年近く前、五才の
頃に大阪の住吉大社で稚児を
務めました。この度は五才の
息子が稚児、しかも綱持ちの
お役を務めさせていただきました



牛王宝印印可 1/15

豆煎式(1/31)

して感動です。息子を恵果と名付けた時から高幡不動尊の稚児を是非にと考えておりました。この様な機会に恵まれて幸いです。できれば来年また参加したいです。

日野わかさ幼稚園保護者

坂詰 紀子

暖かく晴れて良いお天気になりました。年長になったら豆煎り式に参加できることを娘は心待ちにしており、とても張り切っていました。

堂内に入ると私の居た場所からは子供たちの姿は見えず話し声も聞こえなかったのですがどこに居るのか分かりませんでした。みんな背筋をピンと伸ばして静かに座っているの



にこやかに(稚児行列) 1/28

堂内では日々の礼拝の力が発揮できたこと、御護摩を焚く独特な緊張感、豆を煎ったときにとってもいい香りがしたこ

だろうと想像しつつ、日頃の礼拝のおかげだと実感しました。外に出て、いよいよ豆煎り式が始まると、お坊さんに抱えていただきながら大きなしゃもじで豆を煎り、園長先生と一緒に「福は内！」と満面の笑みで豆まきをしていました。

子供たちにとって貴重な経験となった豆煎り式。これからも高幡不動尊を訪れる度に思い出されることでしょう。

日野わかさ幼稚園保護者

佐藤 鮎子

「高幡不動尊には鬼はいないから福は内だけ言うんだよ」園長先生のかげ声に負けじと大きな声で、目を輝かせて豆をまく子供たちの姿がとても微笑ましい一日でした。



園長先生に負けじと「福は一内！」

と、一つ一つが子供たちの胸に強く焼き付いたことと思います。

日野わかさ幼稚園保護者 「ふくはーうち、ふくはーうち」晴天の下、豆をまく園児達の元気な声が響き渡る高幡不動尊。

本日はわかさ幼稚園恒例の行事、豆煎り式。法螺貝の音が鳴り響きお坊さんがお経を唱え豆煎り式が始まりました。お坊さんに抱っこされ、おおきなおしゃもじをお鍋いっぱいの豆を一生懸命煎る園児達。その時の表情はとても素敵でした。そして一足先に豆まきをしました。

豆煎り式の荘厳さを実感し一生に一度と言ってよい程貴重な経験を親子共々させていただきます。

今年で九十歳になる園長先生、先生方、高幡不動尊の皆さんに感謝の気持ちでいっぱい

アルバイト

平方めぐみ

三年間アルバイトを経験させていただきありがとうございます。大学一年の時に初めて年末

年始に夜通しで働き、最初はどのくらい忙しいのだろうと不安に思っていましたがお坊さんや職員の方が親切にしてくさり、同じアルバイトの皆さんとお話できて、お正月があつという間に過ぎたことを覚えていきます。それまではお坊さんを身近に感じる機会がありませんでしたが、アルバイトを経験してとても近い存在になり、大変勉強になりました。感謝しております。来年は社会人となって参拝させていただきます。

西野 実樹

今回アルバイトを通して貴重な社会勉強をさせて頂くことができました。事務所では電話応対から御朱印の受付、事務作業、お茶出しなど沢山の経験をしました。特に電話でご信者さんと話すのは初めての経験で緊張しましたが、電話の応対という社会で必須

のことを学ぶことができて良かったです。お寺で働かせて頂くことで初めて知るマナーや知識もあり大変勉強になりました。多くの人と接する中で身に付けた挨拶や礼儀作法を今後の学生生活に生かしていきたいと思えます。



子供達もお手伝い(豆煎り式) 1/31

節分会

今年の節分会豆撒式は晴天に恵まれ四万人の参詣者で賑わいました。年男女に特別参加された方は、和泉雅子さん・平泉成さん・厚切りジェイソンさん・寺泉憲さん・藤原浩さん・ブラットガールさん・ミス日本各受賞者の皆さん・祇園の舞妓市十美さん・市晴さん・ハローキティちゃん・ピーポくん、イータくん等のキヤラクターも参加しました。



元気いっぱいハローキティちゃん

大勢の皆様の幸せを願う笑顔に私も力いっぱい豆を投げさせて頂きました。今年も良い年になる事を願って……。

俳優 寺泉 憲
新春に、節分会に来られた方々の幸福を祈って豆をまかせて頂きました。ありがとうございます。今年も元気で頑張ります。

女優 和泉 雅子
あこがれの あこがれの 高幡不動尊の節分会！
参加させていただき、うれしい！今年は大々さん良いことがありそう！

俳優 平泉 成
凄いですごい！ものすごく大勢の人の熱気。私も今年は年男、節目の年にお呼び頂き本当に嬉しく思いました。

芸人 厚切りジェイソン
初めて豆まきに参加させて頂きました。豆まきをすることで皆さんに福を届けることができるというのは素晴らしい日本の文化だと思いました。貴重な経験ができ、楽しい時間でした。以上！！

歌手 藤原 浩
今年も参加させて頂きたくて、たいへん感謝です。参拝の皆様と共に「福をください」今年も健康で過ご

してまいりますと存じます。
感謝合掌

ミス日本グランプリ 松野 未佳
初めての体験ですごく楽しかったです。高いところから投げるのは少し恐縮でしたがなるべく多くの方に福を届けよう、遠くまで届けようと腕を振り切ってまかせて頂きました。袋詰めのはなく、バラの豆というのは大変めずらしく思いましたが、昔ながらの豆が散る様子はとても美しく、会場が一体になったような気がいたしました。貴重な体験をありがとうございました。

ミス日本水の天使 須藤 櫻子
このような節分の行事に参加したのは初めてなので大変楽しませて頂きました。歳を重ねるごとに行事ごとに参加



「why?」の厚切りジェイソンさん



お練りするミス日本の皆さん

皆さまの笑顔で私自身もたくさん幸せを頂きました。皆さまに益々の幸せと笑顔が訪れますように。ありがとうございます。

準ミス日本 谷本英理子
「福はうちー！」と叫びながらお豆を撒くうちに大勢の方々の笑顔に溢れ、気付けば私の方が皆さんの福と元気をいただいております。節分という日本の伝統行事から、これほどの幸運をいただくのは今年が初めてです。素敵な時間をありがとうございました。

豆まきに参加させて頂いたので、一般の方々から私も元氣をもらえました。今後もしも足を運びたいと思います。今回は本当にどうもありがとうございました。

祇園 市 晴
毎年たくさんの方が来てくればって驚いています。今年も寄せてもらえるのを楽しみにしてました。みなさんに福が舞い込みますように豆まきさせてもらいます。

ミス日本びりの女神 飯塚 帆南
初めて経験させて頂きたくて、とても貴重な経験になりました。一生の思い出となりました。おかげさまで、たくさんの福をいただいた気がします！ありがとうございます。

ミス日本着物 織茂 璃穂
初めての機会でもとても楽しく豆まきをさせて頂きました。



京都祇園の舞妓さん

高幡俳壇

祐勝選

天 柗酒に酔ひてお練りや枝垂梅 江戸川区 松岡 秀樹

(評) 追儺会の行列・柗酒は飲み放題、誓子の梅もほつほつ。

地 ベイジェント盛り上りたる冬木立 仙台市 磯部 寛和

(評) 被災地の催しか、冬木立との取り合せが佳。

人 初場所や御身乗り出す両陛下 小平市 窪田 恵子

(評) 両陛下のやさしいお姿がこの句からも。

佳作 初御空富士を真中に多摩の郷 日野市 益本 恒夫

掘り当てし最後の諸のずんぐりと

銀杏を古刹に拾い旅終る 多摩市 橋本 絢

鯛焼の温もり肌到家路かな 日野市 小川 周雄

雪少しのりし青菜を貰ひけり 八王子市 久保田英夫

米農家たらんと種を浸しけり 杉並区 北原登美子

三猿の戒め胸に去年今年 香取市 坂本 正夫

手締めてどんどのやぐら組みあがる 吉川市 山田 収一

これからは老ひ楽しまむ日記買ふ 八王子市 清水 和美

飛び石をまづ目で追ひて春の川 八王子市 鈴木 綾子

制服で集ふ部活の初詣 日野市 石川 允義

選者吟 老僧も声を限りに福は内

流通(りゆうつう・るづう)

一般に流通とは、お金や物 わりひろまることをいいます。資がとどこおりなく移動することを行い、また、世の中に物を流通させて、その結果、広く行われ、通用することを意味します。物質的な豊かさを享受してきました。しかし一方で、心や意味します。精神的な豊かさが置き去りにされています。されてるように思われてな

高幡俳壇 作品募集

応募規定

応募規定

一、はがき一枚に二句記載何枚でも可(無料)

一、選者は当山 川澄貫主

一、秀逸三句に記念品贈呈

一、投稿先

〒一九一〇〇三一

東京都日野市高幡七三三

高幡不動尊・山報係宛

○ご投句が多く大部分の方の句が掲載出来ませんが、悪しからずご諒承下さい。



お不動さま教えて？

ご質問 この時期になりますと、春の陽気にさそわれて、よくお不動さまにお参りいたします。その際、不動堂の前に置かれた「花御堂」にもお参りし、かわいらしい仏像に甘茶をかけて、手を合わせてお参ります。これはおしゃかさまのご誕生を祝う「花まつり」だということとは知って



ろを現定め、釈迦の王妃である摩耶夫人の右脇から胎内に宿りました。その後、臨月を迎えた摩耶夫人は、出産のための里帰りの途中、ルンビニの園林で休息しました。園林の木々は季節でもないのに花が咲き、果実をつけていました。その中でも最も神々しい花を咲かしていた無憂樹に近づき、あまりにもきれいであったので、その枝を手折ろうと右腕を差ししのべられた途端、急に産気づき、その右脇からおしゃかさまが生まれ出ました。

お答え はい、お答えます。

ご質問は、「花まつり」について知りたいということですが、

「花まつり」は、「灌仏会」「生会」「降誕会」などと称され

ており、おしゃかさまのご誕生時の伝承に基づいた行事です。それでは以下に、おしゃかさまが誕生した場面を確認していきましょう。

おしゃかさまは兜率天から白象に乗って、この地上に降りてきました。そこで自分が生まれるのにふさわしいとこ

右手で天を指し、左手で地を指し、「天上天下、唯我独尊」(天上にあつても、地上においても、唯一自分が尊い存在であり、必ずや人々を苦しめから済おう)と高らかに宣言したと伝えられています。まさにこの場面を再現したのが「花まつり」なのです。

すなわち、あらんかざりの花で御堂をかざり、香水に見立てた甘茶でもって、天と地を指さすお姿のおしゃかさまに灌いで、そのご誕生を喜び、お祝いするのです。

(小林靖典)

高幡不動尊の春の花を
お楽しみ下さい



キバナホウチャクソウ ユリ科



クマガイソウ ラン科



トサミズキ マンサク科



マンサク マンサク科



ウグイスカグラ スイカツラ科



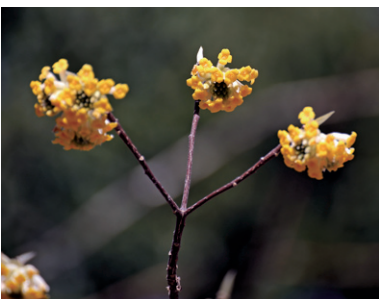
カタクリ ユリ科



サンシュユ ミズキ科



シヨウジョウバカマ ユリ科



ミツマタ ジンチョウゲ科

御◆案◆内

交通安全祈願

午前九時〜午後五時
午後四時半までにお申込下さい。

○ご祈願料 金三千円也

御護摩修行

○平日 八時・十時・
十一時半・一時・三時
○土曜・日曜・祝日
八時・十時・十一時半・
一時・二時半・四時

○但し一日、十五日の午前中は
五時・十時・十一時半

○ご縁日(二十八日)

五時・九時・十時・十一時・
十二時・一時・二時半・四時

○御護摩料

金参千円也
金五千円也
金壹万円也
(大護摩) 金参万円以上

○ご縁日 毎月二十八日

境内に市が立ち参道は歩行者天国になります。

フリーマーケット(リサイクル市)

毎月第二日曜日(雨天中止)
ござれ市(がらくた市)
毎月第三日曜日(雨天決行)
お焚き上げ

月例写経会

毎月十五日午前九時
毎月二十一日午後一時半

千体地藏尊月例法要

毎月二十四日午後二時

奥殿拝観(月曜休館)

午前九時〜午後四時

拝観料 三〇〇円

大日堂 鳴り龍・襖絵拝観

午前九時〜午後四時

参拝料 二〇〇円

(月曜休館)

尚法要中は拝観一時休止になりますのでご諒承下さい。

編集室だより

忙しい正月・初不動・節分も終り、境内はさまざまな春の花が咲き始めています。又皆さまにご協力いただいた大震災犠牲者慰霊地藏尊像奉安も順調に推移し、来る三月十一日に入仏開眼の大法要をお勤めすることが決定致しましたので御礼券々ご報告申しあげます。尚大法要の詳細は次号でお知らせいたします。

発行所

〒191-0031 東京都日野市高幡733

別格本山

高幡山金剛寺

電話 (042)591-0032代

FAX (042)593-3038

発行人 杉田 純一

編集人 年4回発行・再生紙使用